

絆想舎

【キーワード】

(施設種別) 高齢者施設 障がい者施設 子ども施設 住宅 ()
(運営主体) 市区町村 法人 NPO 個人 (補助金) 内閣府 国土交通省 厚生労働省 ()
(建物形式) 1棟単体型 複数棟集合型 団地型 (建物状況) 新築 増築 改修 一部改修 既存
(対象者) 高齢者 障がい者 子ども ファミリー 多世代



写真1. クリスマスパーティの様子(絆想舎ブログより)

絆想舎は、「子育て」と「多世代交流」をコンセプトにしている。ただ単純に子育て世代だけが暮らす場所ではなく、シングルマザーやファザー、カップル、シニア世代が入居し、1つの建物のなかで大家族のように助けあって暮らせる、そんなシェアハウスだ。

■物件情報

物件名 : 絆想舎(ばんそうしゃ)
所在地 : 神奈川県川崎市川崎区四谷上町 12-3
構造・規模 : 木造2階建て 10世帯
間取り : シェアハウス
総面積 : 346.16㎡
専有面積 : 14.85㎡
共用設備 : ラウンジ:共用TV 1台(DVD)、キッチン:共用キッチン 2台、浴室:バスルーム 2室、トイレ:洋室4室、洗濯機:3台(無料) 乾燥機 1台(無料)、インターネット:回線(ラウンジ無料)、駐車場:自転車用 有り(無料)
入居条件 : 男性 女性 外国人対応OK(1室最大3名まで。4名以上の場合は応相談。若年・高齢に関らず単身者の入居可。母子・父子家庭入居可。家族・夫婦による入居可。高齢者の入居は要支援・要介護認定されていないことが条件。)
賃料 : ￥67,000～￥75,000(共益費別途￥10,000～)(入居者1名増あたり共益費+￥15,000/月(中学生以上)+￥7,500/月(中学生未満))(火災保険料￥8,150/年)(新規契約事務手数料￥35,000以上+消費税/年)(クリーニング費￥15,000+消費税(退去時に使用))
築年 : 2014年3月
運営会社 : 株式会社エヌアセット

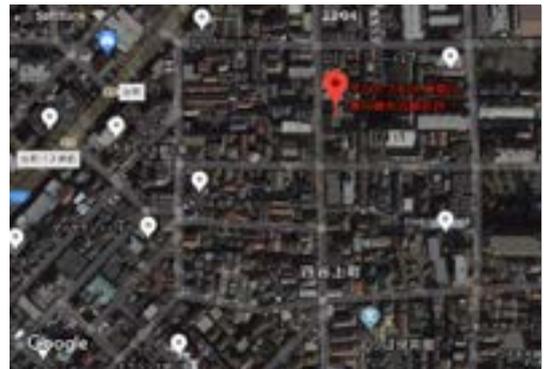


写真2. 周辺状況(Google Mapより)

京急大師線「東門前」駅から徒歩14分、川崎駅からバスで12分のところにある。また、徒歩3分圏内によつて保育園がある。



写真3. 建物外観(アットプレスより)

無添加&自然素材にこだわった純和風の共同菜園付木造2階建てシェアハウス。一見普通の一軒家だが、実際に見ると余裕のある大きな建物に見える。

参考文献

- 1) プレリリース/ニュースリリース配信サービス【@press:アットプレス】(2014)「多世代共生型『みんなで子育て』シェアハウス 完成見学会開催」〈<https://www.atpress.ne.jp/news/44442>〉2017.11.30 参照
- 2) 株式会社コリッシュ(2016)「絆想舎(ばんそうしゃ)-多世代共生子育てシェアハウス」〈<http://bansosha.strikingly.com/>〉2017.11.30 参照
- 3) 「クリスマスパーティをしました」〈<http://bansosha.strikingly.com/blog/bb39689dedf>〉2017.11.30 参照
- 4) 株式会社ヒツジ不動産「絆想舎」〈<https://www.hituji.jp/comret/info/kanagawa/kawasaki/bansosha>〉2017.12.3 参照

■四つの特徴

1) 多世代共生の子育てシェアハウス

独身、カップル・夫婦・子育て世帯・シニア、いろいろな世代が混ざり合い、ともに違いを楽しみながら1つ屋根の下に共に暮らしている。みんなで子育てをしながら、子どもを囲んで笑いあい、共に生きていく『共生の場』を目指している。

2) 裸足が気持ちいい「呼吸する木の家」

無添加&自然素材の国産の無垢建材。無垢材を使用した、家自体が呼吸する快適な空間になっている。大黒柱には法隆寺でも利用されている無垢材のひのき、床材は杉板で、素足で気持ちよいぬくもりがある。また、自然素材なのでシックハウスの予防もできる。

3) 10世帯みんなで使える共同菜園

家のすぐ横の庭に、みんなで使える共同菜園がある。

4) 子育てしやすい環境

保育園まで3分、幼稚園まで4分、小学校まで7分、中学校まで3分と、小さな子どもから中学生まで、通園・通学がしやすい距離にある。



図1. 1階平面図(ひつじ不動産より)

玄関から入ると、各居室に行くのに必ず共有部を通るような設計になっている。1階の部屋からは直に庭に出られるようになっている。一方2階にはバルコニーが設けてあり、そちらもまた部屋から直接外に出る事ができる。

■多世代交流についての考え方

シェアハウスには会社員、学生、フリーター等、色々な人が住んでいる。普段の生活では会わない人と接し、考えを共有し、一緒に暮らす事で幅広い生活を送れる。そこがシェアハウスの魅力だと絆想舎の運営会社は考えている。単身者・子育て世帯・シングルマザー・高齢者の方々、色々な生活をしてきた人が一つの場所にあつまり、生活を共有させるとどのような事がおこるのだろうか。自分だけで、自分たちだけで過ごしていた時間が、とても有意義で知恵や新しい情報を自然と得る事ができ、子供を囲んで笑い会える、共に生きていく『共生の場』になるのではないだろうか。それが、この多世代共生型子育てシェアハウスだ。

■子供と暮らすための家

コンセプトに「子育て」とある通り、絆想舎では子育てへの配慮が至る所に見られる。リビングは43畳と広く、梁を見せるデザインで、空間に広がりを感じられるようになっている。一角には子どもが自由に遊べる畳のスペースもあり、そこはフラットに仕上げているため、つまずいて転ぶことも少なくなっている。リビングの一部が吹き抜けになっていたり、オープンタイプのキッチンにしたりと、子供たちの声や気配が家のどこにいても感じられる設計だ。また、畳スペースにあるハンモック、踏み台などのサポートグッズの用意、ケガのないように積極的に引き戸を採用したり、設備の角を丸く処理してあるなど、細かいところも遊び心と親心から子育てに配慮されている。



写真4. リビング(ひつじ不動産より)

仕切りのない43畳のLDK。窓が大きく光がたくさん入る事と、天井も吹き抜けになっていることで、かなり広く感じる。



写真5. バルコニー(ひつじ不動産より)

二階にあるバルコニー。中と同じく木造で、普通のマンションのバルコニーより少し余裕がある程度の広さ。物干し器具も設置されている。



写真6. 201号室(ひつじ不動産より)

2階の部屋は9畳+ロフトになっているため、天井は4mほど。ロフトで立ち上がっても問題ないほどの高さがあり、収納のみでなく生活の場としても利用できる。